



創世会
藤原 正光

空き家問題から見たまちづくりを

Q 空き家の発生抑制と共に、除去や新たな利活用につなげるために、街再編という観点でエリアマネジメントしているのか伺う。

地域にあった整備手法を研究していく

A 一定数の空き家や、未利用地が集積する区域では、街区単位での土地の入れ替えや集約、整形化を図る等、小規模な土地区画整理事業の実施も、空き家対策の有効な手法です。

エリアマネジメントを行うためには、地域住民の協力も必要なことから、今後は、権利者だけでなく、地域住民とも相談しながらその地域にあった整備手法を研究し、民間の力を活用して、空き家、空き地の利活用に取り組んでいきます。

早期の南海トラフ巨大地震臨時情報への対応策を

Q 不確実で不安な臨時情報の発表により、過剰な食料調達行動など、混乱が予想されるが、国が定めた一週間の避難についての対応策を伺う。

地域特性を考慮した上で地域防災計画に反映していく

A 年に百回以上の出前講座を行い、食料や水、衛生品等を7日分は備蓄するよう周知しています。臨時情報の対応策については、国及び県のガイドラインを基に地域特性も考慮した検討を進め、令和2年度に地域防災計画に反映していきます。



日本共産党
勝川 志保子

制度利用促進に生活相談窓口へ分かりやすいしおりを

Q 掛川市の生活保護受給率は全国平均の六分の一、県平均の三分の一ほど。生活保護のしおりをわかりやすくし、手に取りやすい場所に置くなどして、生活相談を適切に制度につなぐべきなぐべきでは。



の市の生活保護
原保のしおり
田原市生活

市民の方が手に取りやすいしおりとなるよう検討していく

A 今後、しおりについては、市民の方が手に取りやすいように窓口カウンターに設置をし、内容も再度精査し、分かりにくいところがあれば、他市のものを参考にするなどして、分かりやすいものになるよう検討していきます。

保育所待機児童・学童保育所の定員オーバー解消の見通しは

Q 保育所は無償化の影響や年度途中の需要増を見込み、また学童保育所は定員オーバーの解消や高学年も入れるようにするべきである。施設整備を急ぎ、待機児童の解消を。

必要な施設整備を行い、定員確保に努めていく

A 保育所については、公私連携型保育所等の整備や認可保育園の建設支援等を行い、2年間で356人の定員増を図り、計画的な定員確保に努めていきます。また、学童保育所については、利用者のニーズを調査し、必要な施設整備を行い、定員オーバーの解消や受入学年の拡充を図るとともに支援員の確保・育成に努めていきます。

【その他の質問事項】

・豪雨災害に備え、ひとりも取り残すことのない防災対策を行うために
・地域に根ざし、次代を担う子どもたちをすこやかに育てていく市内小中学校のあり方について